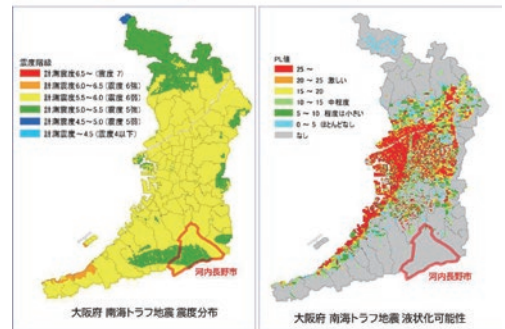


新規幹線道路整備と合わせた 大規模産業用地の創出

河内長野市では、大阪府が新たに整備を予定している大阪南部地域を南北に貫く骨格軸となる主要幹線道路である都市計画道路大阪河内長野線の整備にあわせ、雇用創出や地域活力向上などを目的とした産業系まちづくりを進めています。

- 河内長野市は大阪府南東部に位置し、南海高野線及び近鉄長野線の2路線が連絡し、都心部まで約30分という交通利便性を有しています。
- また、地震などの災害に強い頑強な地勢環境であり、安心安全で持続可能な操業環境を有しています。
- 河内長野市の人口は約10万人であり、堺市南区(約13万人)、富田林市(約10万人)、大阪狭山市(約6万人)など同規模の自治体が隣接している大阪府郊外のベッタウンとして良好な人材雇用環境を有しています。
- その中でも、政令指定都市である堺市に隣接する小山田西地区は、新たな広域ネットワーク道路として整備される都市計画道路大阪河内長野線及び都市計画道路野作赤峰下里線の2路線の沿道に位置しており、大阪府市が共同で設置する大阪都市計画局が策定した「大阪のまちづくりランドデザイン」においても、泉州・南河内地域の核となるエリアを形成するプロジェクトとして位置付けられるなど、今後大阪府南東部の交通及び産業の中心拠点となることが予想されるエリアです。



■河内長野市小山田西土地地区画整理事業について

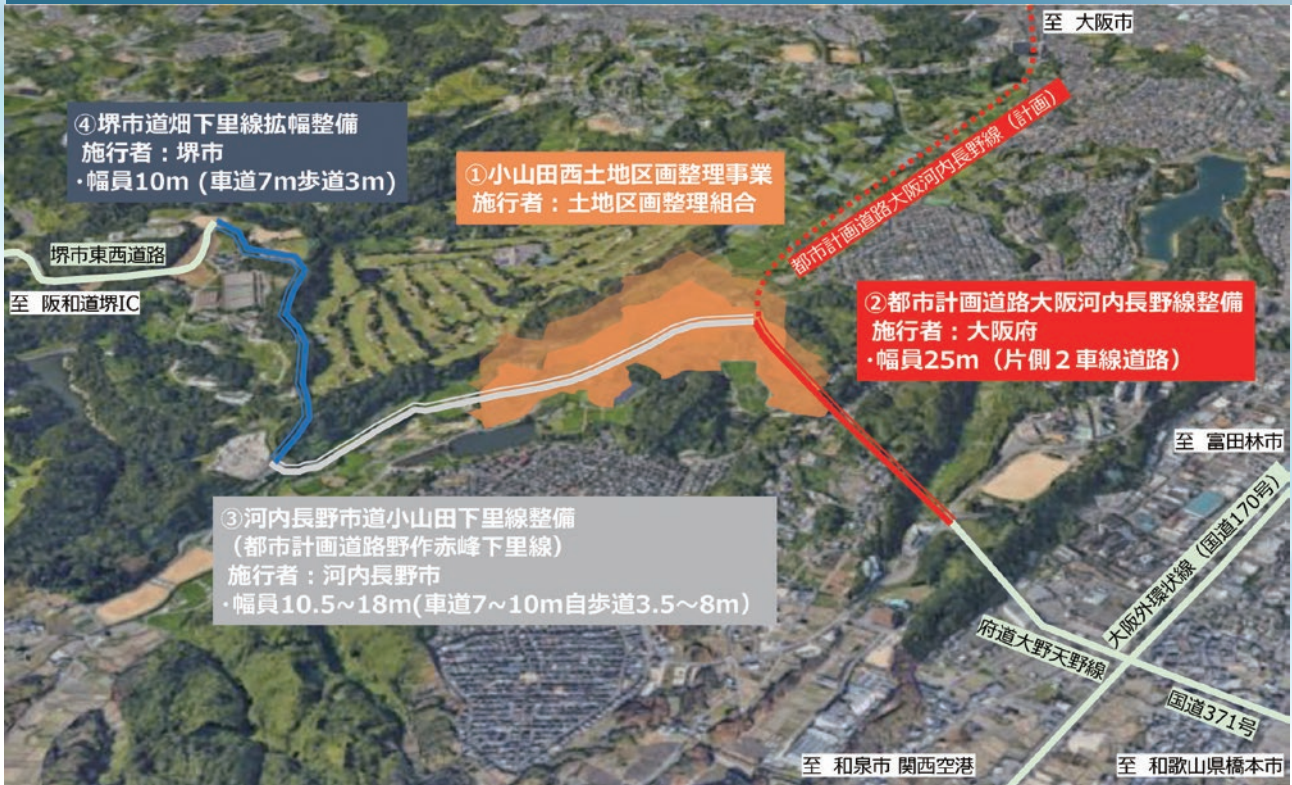
- 小山田西地区では、都市計画道路整備とあわせた土地地区画整理事業の施行を目指し、令和3年より協議会組織による検討を進めてきました。
- 令和7年3月には、全域が市街化区域に編入(用途地域：工業地域)し、令和7年6月には土地地区画整理組合が設立し、都市計画道路整備とあわせた事業着手に向けた準備を進めているところです。
- 関連道路計画や事業の特徴等については次頁をご参照ください。

小山田西土地地区画整理事業の詳細はこちら



事業計画概要	
事業名	南部大阪都市計画事業小山田西土地地区画整理事業
施行者	河内長野市小山田西土地地区画整理組合
一括業務代行予定者	株式会社フジタ
施行地区面積	約22.9ha
宅地(用地)面積	約15.3ha
事業認可日	令和7年6月10日
事業施行期間	令和7年6月～令和14年3月
都市計画	区域区分：市街化区域
	用途地域：工業地域 ※別途地区計画による建築制限有

■関連道路整備(堺アクセス)事業及び周辺環境について



- 当地区では企業用地造成を目的とした土地区画整理事業とともに、大阪府、堺市、河内長野市にて以下の道路整備事業を一体的に進めています。大阪府と和歌山県を繋ぐ国道371号から堺市臨海部や高速道路インターチェンジ(阪和道堺IC)を繋ぐ新たな広域ネットワークの核となるエリアになります。
- 地区内を南北に縦断する都市計画道路大阪河内長野線については、河内長野市から大阪市まで大阪府南部地域を南北に貫く骨格軸となる幹線街路として都市計画決定した道路です。当事業においては当地区内までの整備となりますが、市外(堺市や松原市)の同路線についても整備が順次進められているところです。
- 従前地は自然豊かな田園丘陵地であり、既存の住宅地からは丘陵を挟み一定の距離を有していることから、良好な操業環境を有しております。

■事業の特徴・アピールポイント

- 地権者組織である土地区画整理組合による施行ですが、事業検討段階より民間活力による事業推進のため、民間事業者の参画を図っており、現在は組合の一括業務代行予定者として株式会社フジタが参画しています。
- 施行地区面積22.9ha、用地面積15.3haを有する府内有数の新規大規模企業用地です。
- 都市計画上の用途地域は工業地域が指定されていることに加え、地区計画にて工業系用途以外の建築について制限を課しているため、将来にわたって持続可能な操業が可能です。
- 全区画幹線道路(道路幅員18m~25m)に接道しています。
- 盛土造成による嵩上げにより想定最大規模降雨における浸水リスクはありません。
- ニーズに合わせた区画拡大や分割等についての協議が可能です。
- 電力やガス・水等のインフラ整備については、ニーズにあわせた供給を供給事業者とともに検討します。
- 事業完了時期は令和13年度を予定しておりますが、関連道路事業の進捗により変動することが見込まれています。
- 工事着手時期や契約並びに引渡しのタイミング等については、組合事務局までお問い合わせください。

